

安曇野市豊科郷土博物館開館40周年記念
令和元年度夏季企画展



明科廃寺が造られた時代

—その時の明科、安曇野、そして信濃は?—

開催期間

令和元年7月6日(土)~9月1日(日)



安曇野市豊科郷土博物館

安曇野市豊科郷土博物館開館40周年記念 令和元年度夏季企画展

明科廃寺が造られた時代

—その時の明科、安曇野、そして信濃は?—

令和元年 **7月6日** (土)
~ **9月1日** (日)

明科廃寺は、7世紀後半代とされる素弁八葉蓮華文瓦が出土し、信濃国でも最も古い寺院の一つとされてきました。昨年の第5次調査で多量の瓦が出土し、安曇野市民の皆さんばかりではなく、多くの研究者から注目を集めました。そこで、関心が高まっている明科廃寺ができあがった時代の、明科地域、さらに安曇野市域の状況を、発掘調査の成果からみてみましょう。



企画展記念講演会 8月24日(土) 午後1時30分より



古代寺院をめぐる景観 —明科廃寺を中心に—

講師 **梶原 義実** 名古屋大学准教授
会場 豊科交流学习センターきぼう
多目的交流ホール
参加費 100円 定員 150名

プロフィール

博士(文学 京都大学2010年)
1997年 京都大学文学部史学科 考古学専攻 卒業
2001年 京都大学大学院文学研究科歴史文化専攻考古学専修修士後期課程 中退
2003年 名古屋大学大学院文学研究科 講師
2010年 同 准教授
2012年 第1回名古屋大学石田賞
2017年 名古屋大学大学院人文学研究科 准教授(現職)
2019年 第7回住田古瓦・考古学研究奨励賞

主な著書

『古代地方寺院の造営と景観』吉川弘文館(2017年)
『国分寺瓦の研究—考古学からみた律令期生産組織の地方的展開—』名古屋大学出版会(2010年)

夏休み子ども講座

● **生きものの形を切り絵で楽しもう**

● **藍の葉のたたき染め**

7月20日(土)~8月18日(日)の開館日

会場 豊科郷土博物館 受付時間 午前9時~午後3時(随時)

参加費 無料(高校生以上 要入館料)

● **勾玉づくり** 8月4日(日)・8月17日(土)

受付時間 午後1時30分~3時30分(随時)

会場 豊科郷土博物館 材料費 200円

※勾玉づくりは穂高郷土資料館(TEL 0263-83-8844)でも開催しています。
(7月20日(土)~8月18日(日)、午前9時~午後3時 随時受付)

企画展講座

7月13日(土) **ここまでわかった明科廃寺**
—明科廃寺の発掘調査報告—
土屋和章(安曇野市教育委員会)

7月20日(土) **明科廃寺のあった時代の明科は?**
大沢慶哲
(安曇野市文化財審議委員会委員)

8月31日(土) **明科廃寺から、牛伏寺、若沢寺、そして満願寺**
—松本平の古代から中世の寺院へ—
原 明芳(当館館長)

講座共通事項

会場 博物館2階 学習室 時間 午後1時30分~3時

定員 50名 受講料 無料(要入館料)

講演会・講座共通事項

申し込み 6月25日(火)より、博物館へ電話にて

申し込み(先着順)

館長ギャラリートーク

7月27日(土)・9月1日(日) 午前10時30分~11時
予約不要 要入館料

参考展示 長野県内出土瓦

信濃国分寺跡(上田市立信濃国分寺資料館蔵)
長野市元善町遺跡(長野市教育委員会蔵)
千曲市雨宮廃寺跡(千曲市教育委員会蔵)
松本市大村遺跡(松本市教育委員会蔵)

安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289番地8
TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772 <http://azuminohaku.jp/>

【開館時間】 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
【入館料】 高校生以上100円(20名以上の団体は1名につき80円)
※中学生以下、安曇野市内在住の70歳以上の方は無料
【休館日】 月曜日(祝日の場合は開館)・祝日の翌日
【アクセス】 JR大糸線豊科駅より徒歩15分・JR篠ノ井線田沢駅より車で10分
長野自動車道安曇野I.Cより車で5分

